



第七管区海上保安本部  
平成27年5月28日

問い合わせ先  
第七管区海上保安本部  
海洋情報部 監理課課長 新村  
Tel 093-321-2931 (内線:2510)

「世界水路の日」記念展を開催します  
～ 関門海峡の発展と海底の調査に関する展示～

6月21日は「世界水路の日」です。この「世界水路の日」は、平成17年、国連総会において採択されたものです。

本年の「世界水路の日」のテーマは「探査、海図化を待つ私たちの海と航路」であり、水路業務の多様性、重要性の理解促進を図ることになっています。

今般の展示では、船舶の安全運航を通じて地域の経済を支えていることを理解して頂くため、関門海峡の海図の変遷を展示します。

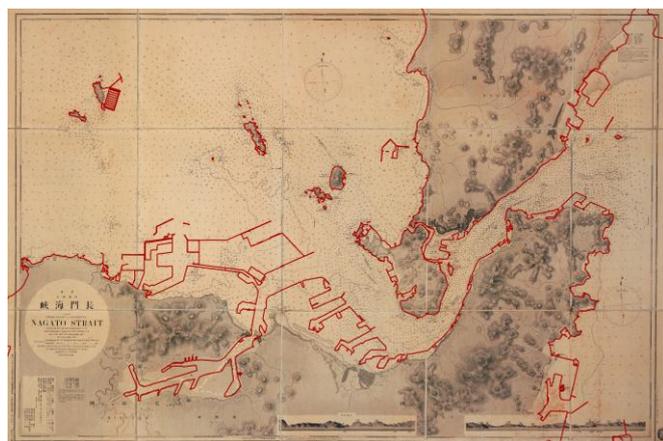
また、当庁では、未開の部分の多い海底の調査も行っており、この海底の調査は海底資源の発見、大陸棚確定等に資するものであることを理解して頂くために海底の調査に関するパネル等を展示します。

なお、この展示は西部海難防止協会の協力を得て「関門海峡らいぶ館」にて実施します。

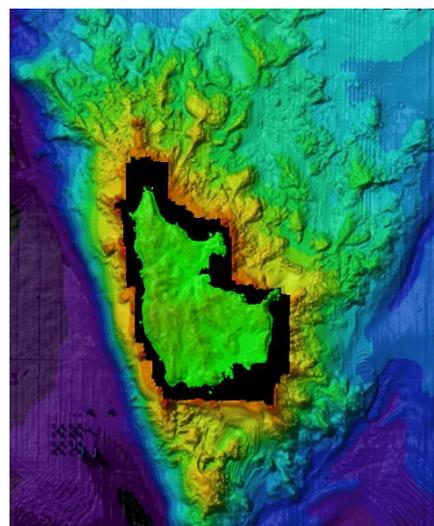
- 開催日時  
6月12日（金）～28日（日）  
午前9時～午後6時（25日休館）
- 開催場所  
「関門海峡らいぶ館」フロアー  
北九州市門司区西海岸1-6-2  
（旧三井物産ビル1階）
- 主な展示物  
別添参照
- その他  
入館無料



明治19年の海図(赤線:現在の海岸線)



萩市見島沖の海底地形図(海底火山)





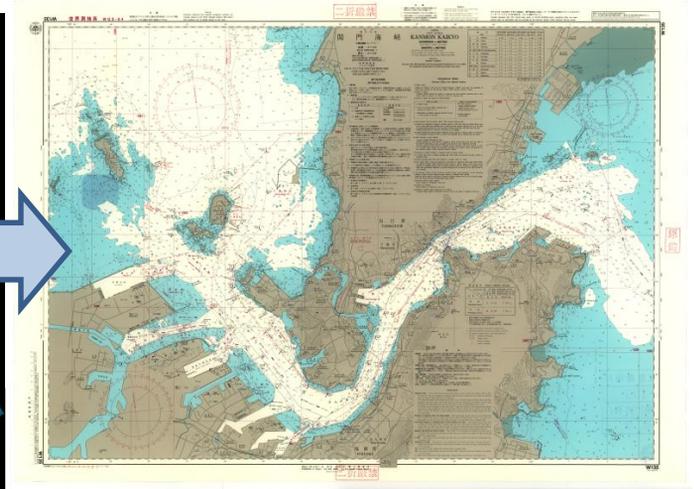
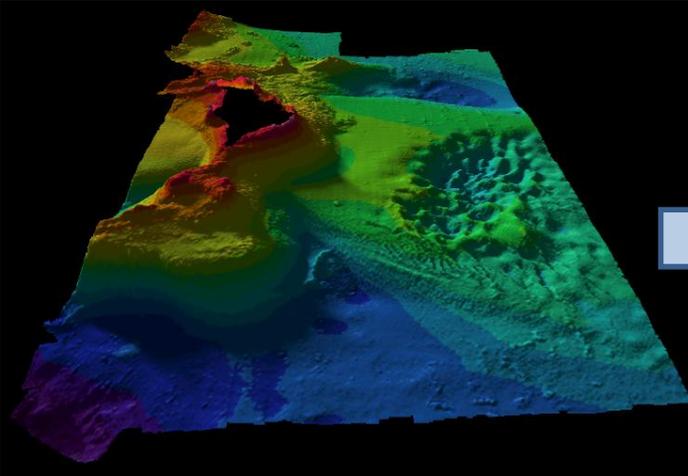
# 関門海峡の海図の変遷にみる水路業務



これまでの水路測量に基づき作成された海図は、船舶の安全運航を通じて地域経済を支えています。

水路測量による海の深さを調査

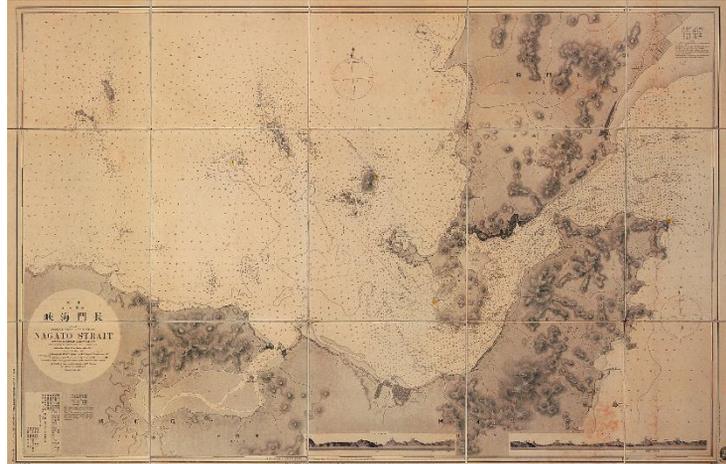
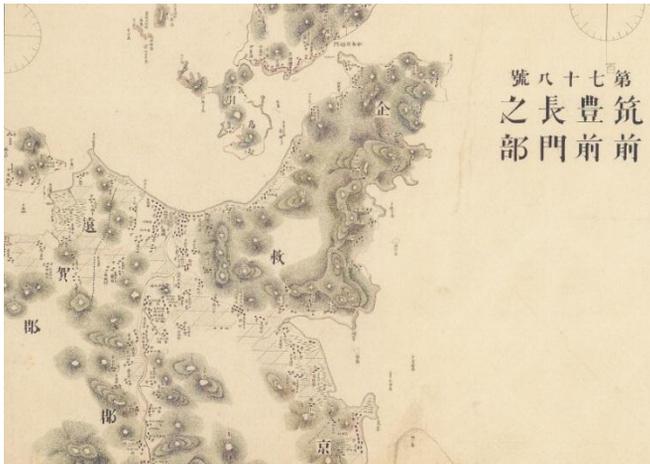
海図に反映



関門海峡の海図の変遷を紹介します。

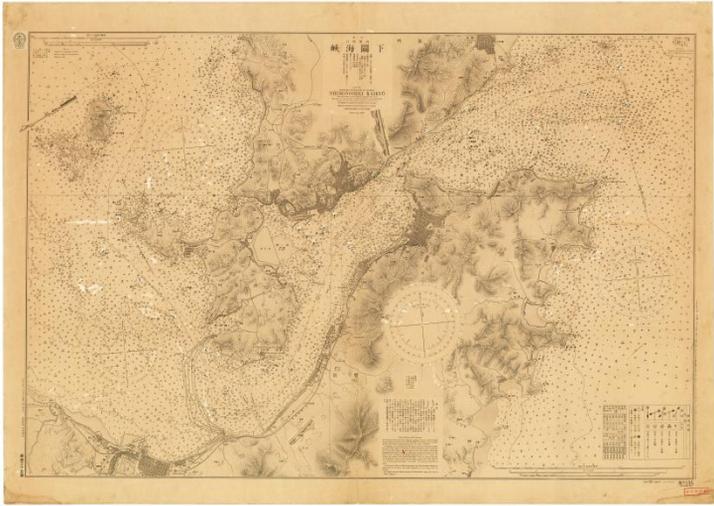
○海図ができる前  
伊能図(陸上の地図(1800年代前半))

○工業化が始まる前  
明治19年海図  
関門海峡全体を範囲に収めた最初の海図

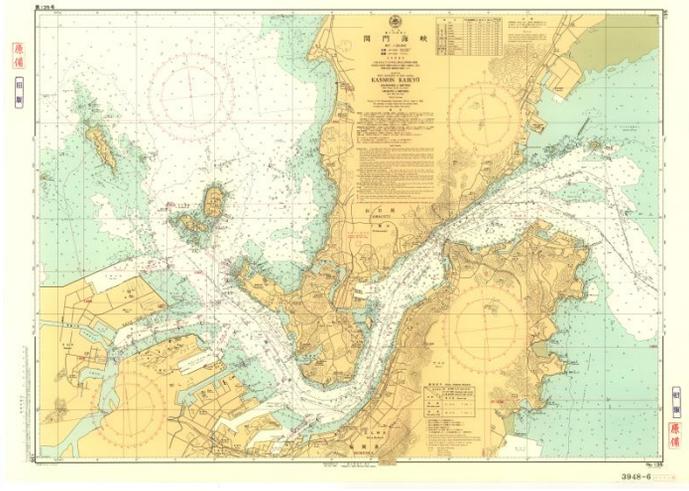


○工業の進展に伴い、大型船の出入港へ対応するために、洞海湾、関門海峡の浚渫、埋め立てが進んできました。

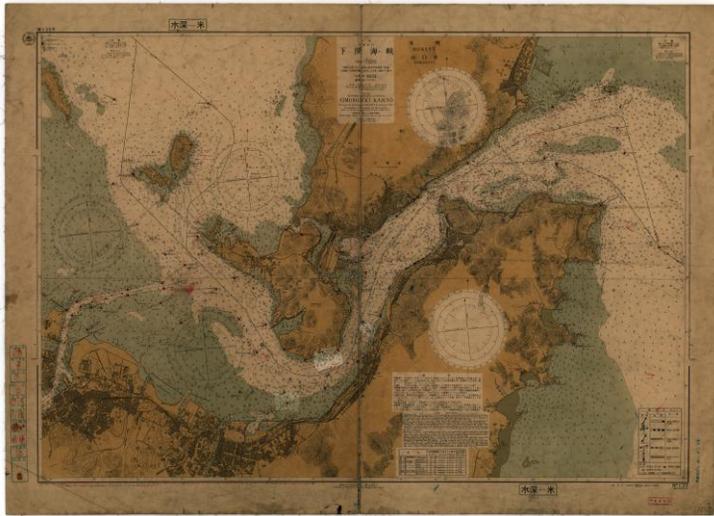
大正7年海図



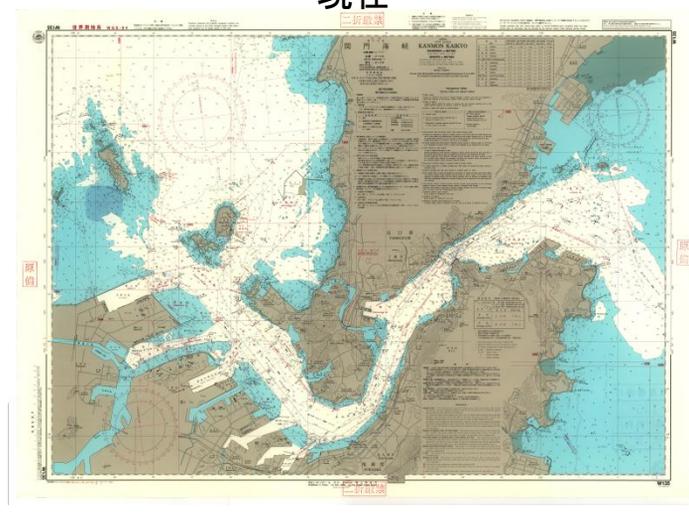
平成元年海図



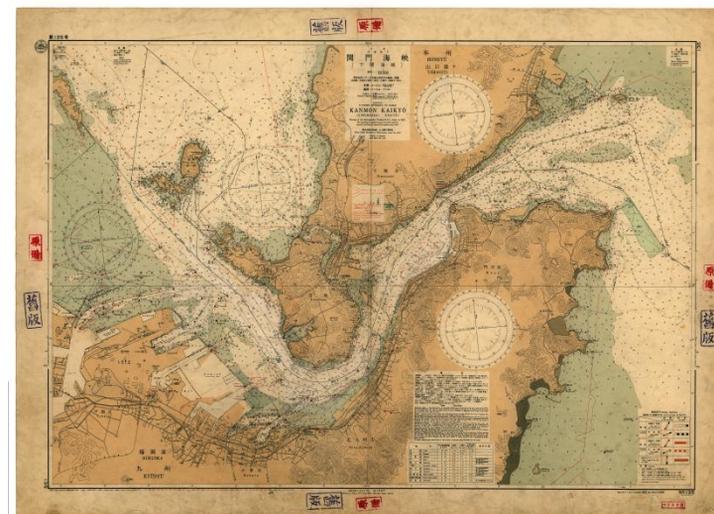
昭和27年海図



現在



昭和39年海図





# 最新の海底探査にみる水路業務



人間は宇宙の詳細なデータを得られるようになったのに海底はまだ未開の部分が多くあります。



打ち上げられるスペースシャトル



“イトカワ”から見た地球(合成)

我々は次のような最新の測量機器を使用して未開の海の調査を実施します。



AUV



マルチビーム音響測深器

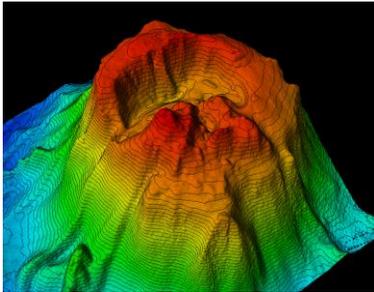


航空レーザー

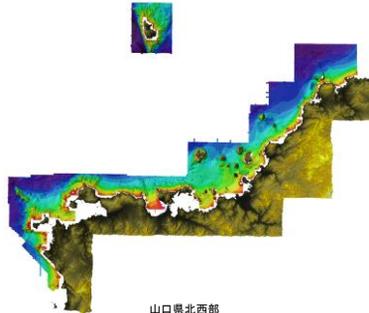


サイドスキャンソナー

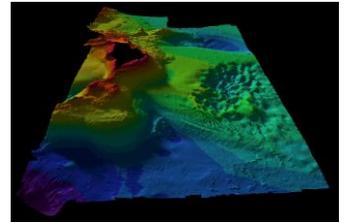
## マルチビーム測深器により得られた海底地形



第1草葎海丘

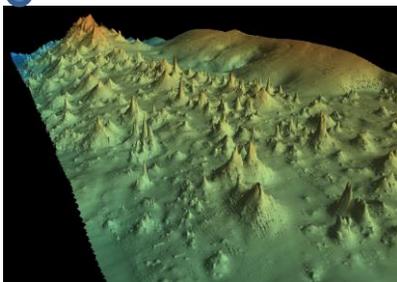


山口県北西部



小川島付近(佐賀県)

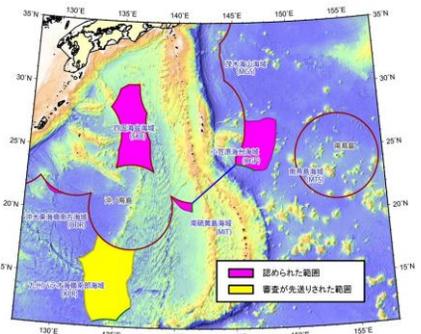
これらの海底地形調査は、海図となって海図は船舶の安全運航を守る他に、海底資源や活断層の発見我が国の大陸棚確定等にも利用されています。これからも海底地形調査により未開の海底を明らかにしていきます。



マルチビーム測深の詳細解析により発見された熱水鉱床群 (熱水鉱床からは地球内部で形成される銅・鉛・亜鉛などの鉱物が多量に噴出され、低温の海水と反応して形成されます)



依然活発な活動を続けている西之島



我が国の延長大陸棚